

同時進行型



鳥取県大山町立名和小学校
加藤 浩之

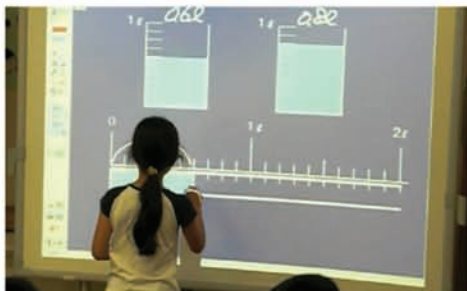
実践テーマ 単位小数を画面上の数直線にあてはめ、小数の計算の仕方を説明する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 リットルますの中の水を操作して、問題のイメージを持つ。(問題を視覚的にとらえる)
- 〈展開〉 数直線上で単位小数ブロックを動かしながら、問題文の小数が0.1のいくつ分になるかをとらえて計算の仕方を考え、説明する。(計算の仕方を視覚的に説明する)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・ 小数のたし算の問題を視覚的に把握する (PC教材①)。	● 自作教材 使用ソフトウェア： スクールプレゼンター((株) 内田洋行)
展開	・ 数直線上で、数値が0.1のいくつ分になるかを考え、計算の仕方を説明する (PC教材②)。	● 自作教材
まとめ	・ 適用問題をし、計算の仕方を説明し合う。	



リットルますの水を操作し、数直線と対応させて計算の仕方を考える。



数直線上で0.1のブロックを動かしながら0.6や0.8が0.1のいくつ分になるかを考え、説明する。

児童の反応・効果

- ・ 小数は単位小数である0.1のいくつ分で表されることをもとにして、リットルますの絵や数直線を用いながら視覚的に小数の計算の仕方を説明することができた。

活用のポイント

- ・ 電子黒板を、問題文を視覚化してとらえる活動と単位小数を視覚的に操作して計算の仕方を説明する活動で活用する。